

お元気ですか

つかじさちのフレッシュ便

第906号



日本共産党高知県議会活動報告

2019年2月10日発行

電話 088-823-9524 (議会控室)

088-843-9281 (自宅)



危険なS字カーブの解消へ 朝倉米田中、治興団地入口の工事着工

「道幅がせまくて、すいちがえび、バックして、車が道に落ちちゃった、たレコトって、くる自転車とぶつかった、ま、た、住民のみなさんから早く改善して欲しいと要望が寄せられていた市道の改良工事か、わ、じ、始まりました。改良工事のための用地に市はお金と出さないの、地権者の方の意見による野村が基本、協力いただいた方、工事にご協力下さる方々に心から感謝しています。

ねるがも日記

No 904

高知地方気象台北村光良次長さんのお話は、南海トラフ巨大地震とともに、最近の異常気象による豪雨災害に対する情報の集め方や備えについて、大変、参考になるものでした。こいまでも、「鏡川・神田川にたまた、た土砂まのけて」「裏山の砂防工事もやってもらいたい」の声を寄せられながら、「予算がな」「の言葉に阻まれている現実を変えて、いきます。

先生のいない教室もなくなるための 私たちの提案が一步前進!

「中学校の先生の40%がコロナラインの長時間労働し、高知県教育委員会が調査結果を出さない、衝撃が広がっています。授業の持ち時間、いわゆるコマ数が多く、おもしろい授業にするための教材研究や準備は、家に帰って、持ちかえり残業になって、先生の多忙化と同時に大きな問題となっていて、これは、臨時教員不足。本来正採用で置けば、定数教員に多くの臨時教員を着任させていて、産休や育休の代替の先生が見つからず、一ヶ月以上配置されない状態が各地で生じています。本来は、教員数を抜本的に増やすことが必要ですが、当面、産休等の代替として、任期で正職と同じ待遇で働く教員の採用制度が、来年度から実施されることになりました。

学びに来ませんか

「建国記念の日」に反対し、日本の今と明日を考える集い

【シンポジウム】
「憲法・教育・歴史=あの戦争は何だったのか?」
2月11日13:30~16:00
人権啓発センター6F
宗教者、学者、教師各の立場のお話。参加費500円

2月3日、朝倉地区連合防犯会主催による防災講演会が、学芸中・高松体育館で開催され、迫つろろ市議とともに参加させていただきました。